

II その他の情報収集提供業務

1 消費者代表との意見交換会

中期計画においては、「消費者等への情報の提供については、消費者等の視点に立ってその要望に応えた分かりやすい情報とするため、消費者等との意見交換会等を通じた双方向・同時的な情報や意見の交換を行うことにより、消費者等の理解の促進を図る」としている。このことを踏まえ、以下のとおり消費者代表との意見交換会を実施した。

開催日	分野	内容等
平成 28 年 7 月 25 日(月)	畜産	近年、牛肉は高値で推移しており、その理由のひとつとして上げられているのが、離農による肉用牛の減少である。そこで、機構が実施している増頭対策について、現地視察及び意見交換を実施し、牛肉供給の仕組みの一端を紹介し、理解を深めてもらうことを目的に、現地意見交換会を開催した。〔佐波伊勢崎農業協同組合（群馬県伊勢崎市）、下山牧場（農協管内の肉用牛繁殖農家）〕
平成 28 年 11 月 21 日(月)	野菜	野菜の生産現場等を訪問し、生産者などと意見交換をすることにより、野菜農家の実態や流通及び機構業務について情報共有を図るため、野菜需給協議会現地協議会と合同開催。〔埼玉ひびきの農業協同組合（本庄営農センター、南部選果場、管内のきゅうり・レタスのほ場、農産物直売所「あおぞら館」）〕

2 「消費の道しるべ」等への記事掲載及びセミナーの開催

機構の各業務や業務を通じて得られた様々な情報について、広報活動をはじめとした様々な手段・方法で広く国民の皆様知ってもらえるよう、情報の社会的発信の強化として、広報誌「a l i c」を発行（隔月）するとともに、セミナーを開催した。

また、一般財団法人消費科学センターが発行する「消費の道しるべ」及び全国地域婦人団体連絡協議会が発行する「全地婦連」に消費者の関心のある記事を掲載した。

(1) 広報誌「a l i c」の発行

発行月	主な掲載内容
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養素がバランスよく豊富に含まれる牛乳について～6月1日は牛乳の日（6月は牛乳月間）～：一般社団法人Jミルク会長 宮原道夫 氏 ・ ハーベスターは“ゆがふ（世界報）”の夢を見るか？～沖縄本島のさとうきび作りを守りたい～ ・ 長崎県における野菜生産の取り組み～JA島原雲仙の段々畑を利用したレタス栽培～ ・ 「安心・安全」で「物価の優等生」である鶏卵の生産現場から
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さん1日350gの野菜を食べていますか～8月31日は野菜の日～：一

	<p>一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会会長 小濱裕正 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内で手を取り合い規模拡大に取り組む繁殖農家～山形県真室川町・真室川町農業協同組合～ ・ 徳島県における野菜生産の取り組み～水田を活用したブロッコリー栽培～
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶏肉はヘルシーで消化吸収のよい良質なたんぱく源～10月29日は国産とり肉の日～： 一般社団法人日本食鳥協会 佐藤実 氏 ・ でん粉原料用かんしょを基礎にした経営を伝えて、担い手を育てる～いぶすき地域でん粉原料用かんしょ部会長 前村千香男さん～ ・ 肉用牛・乳用牛の飼養動向
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな楽しみ方ができるチーズは和食にもピッタリ～11月11日はチーズの日～： チーズ普及協会会長 西尾啓治 氏 ・ チクレンによる乳雄牛肉のサプライチェーン構築に向けた取り組み ・ さとうきびやてん菜など地域の基幹作物を支える砂糖の価格調整制度
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年のごあいさつ ・ 三代目に受け継がれた伝統野菜「源助だいこん」～石川県金沢市 松本充明さん～ ・ 広大なる十勝の大地で高品質なてん菜を作る～北海道帯広市 大塚徳幸さん～
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ パティシエがつくり出す洋菓子の魅力： 一般社団法人日本洋菓子協会連合会副会長 大山栄蔵 氏 ・ 大きな夢を持って、肉用牛繁殖経営へ新規参入！ ・ モスファームすずなり ～合言葉は“おいしさを求めて”～ ・ “酪農ヘルパー”地域で活躍！

(2) セミナーの開催

実施月	主なテーマ
4月	<p>「最近の中国の牛乳・乳製品需給動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 伊澤 昌栄</p> <p>「東南アジアの牛乳・乳製品需給動向～タイ・インドネシアの酪農事情を中心に～」 独立行政法人農畜産業振興機構 畜産経営対策部 中島 祥雄</p>
6月	<p>「平成27年度 食料・農業・農村白書について ～特集：TPP交渉の合意及び関連政策～」 農林水産省大臣官房広報評価課情報分析室 室長 八百屋 市男 氏</p>
7月	<p>「最近の中国の豚肉需給動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 畜産振興部畜産流通課（前 調査情報部） 伊澤 昌栄</p> <p>「生鮮鶏肉輸出再開後のタイの鶏肉産業の動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 審査役 木下 雅由</p>
8月	<p>「拡大するスペイン養豚産業の現状」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 大内田 一弘</p> <p>「メキシコの豚肉産業の現状と課題」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 渡邊 陽介</p>

9月	「地理的表示保護制度について」 農林水産省食料産業局 知的財産課 課長補佐 進藤 友寛氏
10月	「アマゾン川物流開発で穀物の輸出競争力を高めるブラジル －激化するブラジルとアメリカの輸出競争－」 株式会社農林中金総合研究所基礎研究部 主席研究員 阮 蔚 氏 「旺盛な輸出需要への対応を模索するブラジルの牛肉業界」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 米元 健太
11月	「最近の韓国の牛乳・乳製品需給動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部総括調整役 伊佐雅裕 「中国の牛乳・乳製品をめぐる動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 木田秀一郎
1月	「C A P改革後の中東欧諸国のばれいしょでん粉産業と最近の動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 根本 悠 「豪州砂糖産業の動向 - F T A / E P A締結・交渉進展と砂糖産業法の改正 -」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 丸吉 裕子 特産業務部 園部 佳容子
3月	「日本産農産物輸出のプロセスと継続的な輸出拡大のための今後の課題」 Aglie n 代表 坂井 紳一郎 氏

(3) 「消費の道しるべ」への掲載

掲載月	掲載内容
7月	第11回食育推進全国大会に参加しました
8月	全国初の地理的表示(G I)保護制度登録「江戸崎かぼちゃ」
9月	「安全・安心」で「物価の優等生」である鶏卵(けいらん)について
10月	国内の豚肉生産と養豚農家への支援について
11月	「ばれいしょでん粉」について
12月	復興に向けた農事組合法人井上生産組合(宮城県仙台市)の取組
1月	乳雄(にゅうおす)牛肉需要の高まりに対応した生産者の取組み
2月	紅茶と砂糖の関係 ～イギリスのコーヒー・ハウスにて～
3月	農畜産物のこと、もっと知ってみませんか?～広報誌・イベントなどのご案内～

(4) 「全地婦連」への掲載

掲載月	掲載内容
6月	畜産の生産現場における安全性の確保に向けて ～高病原性鳥インフルエンザの防疫対策～
9月	原料糖から精製糖ができるまで
2月	国産牛肉の安定的な生産のために

